

気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同 及び情報開示について

大末建設株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長 村尾和則、以下「当社」）はこのたび、金融安定理事会（FSB）により設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース（以下、TCFD ※1）」の提言への賛同を表明しました。

当社は、2020年にスタートした中期経営計画「Challenges for the future」において、「CSR及びSDGsに対する取り組み方針」を策定し、ESG（環境、社会、ガバナンス）の3分野について、重要課題を設定するとともに、課題解決に向けた取り組みを進めてまいりました。

その中で、気候変動への対応を重要な経営課題の一つと捉え、TCFD提言に基づき気候変動が事業にもたらすリスクと機会の分析を実施しました。今後は、分析結果を踏まえた対応策を推進し、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に取り組んでいきます。

■ TCFD提言に基づく気候関連情報の開示：<https://www.daisue.co.jp/csr/sdgs/>



※1：TCFD（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）とは、G20の要請を受け、金融安定理事会（FSB）により設立されたタスクフォースであり、企業等に対し、気候変動関連リスク、及び機会に関する情報開示を推奨している。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

大末建設株式会社 経営企画部 CSR推進課
TEL：06-6121-7127